

# 港湾局関係の業績指標の動向

国土交通省全体で13の政策目標、46の施策目標、216の業績指標のうち港湾局関係は16指標を定め、毎年チェックアップを実施。

分野	政策目標	施策目標	業績指標	初期値	H18(実績値)	目標値
暮らし・環境	良好な生活環境、自然環境の形成、バリアフリー社会の実現					
	総合的なバリアフリー化を推進する					
			1日当たりの平均利用者数が5,000人以上の旅客施設、その周辺等の主な道路、不特定多数の者等が利用する一定の建築物及び住宅のバリアフリー化の割合(旅客施設の段差解消、視覚障害者ブロック)	39.3%(H14) 72.0%(H14)	56.5%(H17) 82.8%(H17)	7割強(H19) 8割強(H19)
	海洋・沿岸域環境や港湾空間の保全・再生・形成、海洋廃棄物処理、海洋汚染防止を推進する					
			失われた湿地・干潟のうち、回復可能な湿地や干潟の中で再生したものの割合	約2割(H14)	約2割	約3割(H19)
			湾内青潮等発生期間の短縮	0(H14)	H14年度比 約15%減(H17)	H14年度比 約5%減(H19)
			廃棄物を受け入れる海面処分場の残余確保年数	約4年(H18)	約4年	約7年(H23)
			人々が海辺に親しむことのできる海岸の延長	約6,700km(H14)	約6,800km	約6,800km(H19)
			失われた自然の水辺のうち、回復可能な自然の水辺の中で再生した水辺の割合	0割(H14)	15%	約2割(H19)
	良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する					
			都市域における水と緑の公的空間確保量	12m <sup>2</sup> /人(H14)	約8%増(速報値)	12m <sup>2</sup> /人を約1割増(13m <sup>2</sup> /人)(H19)
安全	良好な水環境・水辺空間の形成・水と緑のネットワークの形成、適正な汚水処理の確保、下水道資源の循環を推進する					
			生物多様性の確保に資する良好な樹林地等の自然環境・歴史的風土を保全・創出する公園・緑地	0(H14)	約2,200ha(速報値)	2,400ha(H19)
	水害等災害による被害の軽減					
活力	津波・高潮・侵食等による災害の防止・減災を推進する					
			津波・高潮による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の面積	約15万ha(H14)	約12万ha	約10万ha(H19)
			地震時に防護施設の崩壊による水害が発生する恐れのある地域の解消	約13,000ha(H14)	約10,500ha	約10,000ha(H19)
活力	国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化					
	海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進する					
			国際海上コンテナ貨物等輸送コスト低減率	0(H14)	H14年度比 4.5%減	H14年度比 5%減(H19)
			船舶航行のボトルネック解消率	75%(H12)	84%	90%(H19)
			フェリー等国内貨物輸送コスト低減率	0(H14)	H14年度比 2.7%減	H14年度比 4%減(H19)
			港湾におけるプレジャーボートの適正な係留・保管率	45%(H8)	50%	55%(H23)
			循環資源国内輸送コスト低減率	0(H14)	H14年度比 約9%減	H14年度比 約1割減(H19)
		港湾による緊急物資供給可能人口	約1,900万人(H14)	約2,050万人	約2,600万人(H19)	

注1) 太字の指標は現行社会資本整備重点計画第2章の指標

注2) 業績指標の実績値は年度末の値